

# 日本植生史学会ニュースレター

No.40 October 18, 2016

## 第31回日本植生史学会大会のご案内（最終報）

第31回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。

学会 Web サイト (<http://hisbot.jp/>) においても随時、情報を更新いたしますので、ご確認願います。

### ◆ 日時

2016年11月18日（金）午後：幹事会  
11月19日（土）午前：幹事会・評議員会 午後：記念シンポジウム・懇親会（記念祝賀会）  
11月20日（日）一般研究発表（口頭 / ポスター）・総会

### ◆ 会場

大会会場：専修大学生田キャンパス 10号館 1階 10102教室  
懇親会（創立30周年祝賀会）会場：専修大学生田キャンパス 10号館 4階・学生ラウンジ  
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1  
[http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/ikuta\\_campus.html](http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/ikuta_campus.html)

アクセス：

向ヶ丘遊園駅（小田急線）南口より徒歩約15分  
向ヶ丘遊園駅（小田急線）北口よりバスで約10分  
（向ヶ丘遊園駅へは、新宿駅より小田急線急行で約20分）

<http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access.html#ikuta>

「専修大学9号館」行のバスは終点で下車して下さい。「専修大学前」行、「聖マリアンナ医科大学」行、「あざみ野」行のバスは「専修大学120年記念館前」で下車して下さい。

キャンパスマップとバス停の位置

[http://www.senshu-u.ac.jp/library/00\\_spdata/koho/univguide/campus\\_info/campus\\_map\\_ikuta.pdf](http://www.senshu-u.ac.jp/library/00_spdata/koho/univguide/campus_info/campus_map_ikuta.pdf)

### ◆ 費用（当日徴収）

参加費（要旨集代を含む）：一般会員 3,000円、学生会員 1,000円、非会員 3,000円

懇親会費：一般会員 6,000円、学生会員 3,000円、非会員 6,000円

お弁当予約：11/20（日）昼のお弁当（お茶付）の予約を1,000円で受付けます（申し込み期限：10/20（木））。大会申込時に学会 Web サイトの申込フォームからお申込ください。（11/19（土）は学生食堂が開いていますが、11/20（日）は閉まっております。大学周辺に飲食店やコンビニがありませんので、ご注意ください。）

宿泊：各自でお早目にご予約ください。大会会場の専修大学生田キャンパス（向ヶ丘遊園駅）周辺には宿泊施設が少なくなっております。新宿駅周辺や町田駅周辺など、小田急線沿線に宿泊されると便利です。

### ◆ 主催：日本植生史学会

### ◆ 大会実行委員：高岡貞夫（実行委員長）・苅谷愛彦・吉田圭一郎・一木絵理・田代 崇・江口誠一・星野安治

### ◆ 記念事業実行委員：辻誠一郎（委員長）・高岡貞夫・井上 淳・佐々木由香・那須浩郎・吉田明弘・江口誠一・星野安治

### ◆ 大会に関する連絡先：大会に関するお問合せは、大会実行委員会（[taikai31@hisbot.jp](mailto:taikai31@hisbot.jp)）までお願いします。

## ◆ 大会プログラム

11月19日(土) 日本植生史学会創立30周年記念シンポジウム, 懇親会(創立30周年祝賀会)

13:00~13:30 受付(専修大学生田キャンパス10号館1階10102教室)

13:30~18:00 日本植生史学会創立30周年記念シンポジウム『植生史研究のこれまでとこれから』(公開)

趣旨説明 13:30~13:40

辻 誠一郎(東京大学)

パート1 13:40~15:40

話題1 花粉分析による植生史研究と今後の課題

高原 光(京都府立大学)

話題2 大型植物化石による植生史研究の成果と今後の課題

百原 新(千葉大学)

話題3 この30年の木材遺体研究の展開と展望

能城 修一(森林総合研究所)

パート2 16:00~18:00

パネルディスカッション「多様化する植生史研究」

コーディネーター・司会 鈴木 三男(東北大学名誉教授)

パネラー

矢部 淳(国立科学博物館)

鈴木 伸哉(東京都埋蔵文化財センター)

佐々木 由香(パレオ・ラボ)

吉田 明弘(鹿児島大学)

工藤 雄一郎(国立歴史民俗博物館)

那須 浩郎(総合研究大学院大学)

18:30~20:30 懇親会(創立30周年祝賀会:専修大学生田キャンパス10号館4階・学生ラウンジ)

11月20日(日) 一般研究発表(口頭・ポスター), 総会

9:00~10:40 口頭発表B-1, B-2(10号館1階10102教室)

10:40~11:50 総会(10号館1階10102教室)

11:50~12:40 昼食

12:40~14:10 ポスター発表(12:40~13:25 奇数番号, 13:25~14:10 偶数番号:10号館1階ゼミ101A・ゼミ101B)

14:20~16:00 口頭発表C, A-1, A-2(10号館1階10102教室)

口頭発表B-1「人と植物の関係史」 座長:佐々木 由香(パレオ・ラボ)

0-01 9:00 ○星野 安治, 浦 蓉子, 山本 祥隆(奈良文化財研究所):年輪年代学的手法を用いた小型木製品の  
検討ー平城宮・京跡出土齋串および木簡の事例ー

0-02 9:15 ○箱崎 真隆(国立歴史民俗博物館), 木村 勝彦(福島大学), 佐野 雅規, 對馬 あかね, 李 貞  
(総合地球環境学研究所), 木村 淳一(青森市教育委員会), 小林 謙一(中央大学), 中塚 武  
(総合地球環境学研究所):年輪酸素同位体比にもとづく青森市石江遺跡群の古代~中世の出土  
材の年輪年代測定

0-03 9:30 ○工藤 雄一郎(国立歴史民俗博物館), 鈴木 三男(東北大学), 能城 修一(森林総合研究所),  
鯨本 眞友美(福井県立若狭歴史博物館), 網谷 克彦(福井陶芸館):福井県鳥浜貝塚から出土  
した縄文時代草創期および早期のクリ材の年代

9:45～9:55 休憩

**口頭発表 B-2「人と植物の関係史」 座長：荒川 隆史（新潟県埋蔵文化財事業団）**

0-04 9:55 ○安 昭炫（パレオ・ラボ），安 鉦重（全北文化財研究院）：韓国碧骨堤(Byeokgolje)堤防遺構の敷葉工法に用いられた植物体の検討

0-05 10:10 ○渋谷 綾子（国立歴史民俗博物館），三宅 裕（筑波大学），近藤 修，澤藤 りかい（東京大学）：ハッサンケイフ・ホユック遺跡から出土した石器と人骨の歯石に対する残存デンプン粒分析

0-06 10:25 井上 淳（大阪市立大学）：炭化木片の反射率から推定した弥生時代の焼失住居の燃焼温度

10:40～11:50 総会（10号館1階10102教室）

11:50～12:40 昼食

12:40～14:10 ポスター発表（12:40～13:25 奇数番号，13:25～14:10 偶数番号：10号館1階ゼミ101A・ゼミ101B）

**ポスター発表 A「生態，古生態，環境変動」**

P-01 ○高岡 貞夫，荻谷 愛彦（専修大学）：山地における地形発達過程と現存植生の中に認められる植生形成過程

P-02 ○荻谷 愛彦，高岡 貞夫（専修大学）：北アルプスの高山帯・亜高山帯における線状凹地埋積物を用いた植生史研究

P-03 清永 丈太（東京都）：樹高・直径の小さい壮齢スギ人工林における花粉生産量

P-04 ○嶋田 美咲，高原 光（京都府立大学），原口 強（大阪市立大学），吉永 佑一（防災地質研究所）：鹿児島県甕島中山堆積物の花粉分析に基づく過去7000年間の植生変遷

P-05 ○柴崎 大樹，高原 光，佐々木 尚子（京都府立大学），河野 樹一郎（西日本技術開発），山川 千代美（琵琶湖博物館）：比良山系蓬萊山稜線部における植生変遷とササ草原の成立過程—小女郎ヶ池堆積物の古生態学的分析に基づく検討—

P-06 ○江口 誠一，渡邊 稜也，田代 崇（日本大学），藏本 隆博（秋吉台博物館）：秋吉台上の大シブリ・ドリネ堆積物から産出した植物珪酸体化石群

P-07 ○矢野 梓水，百原 新（千葉大学），近藤 玲介（皇學館大学），宮入 陽介（東京大学），紀藤 典夫（北海道教育大学），井上 京（北海道大学），横山 祐典（東京大学），富士田 裕子（北海道大学）：大型植物遺体群から復元した北海道北部猿払川湿原群の発達過程

P-08 ○Yuqing Wang, Arata Momohara (Chiba University), Zhekun Zhou (Chinese Academy of Sciences) : Evolutionary History of Atmospheric CO<sub>2</sub> during the Late Cenozoic from Fossilized Metasequoia Needles

P-09 ○塚腰 実，○三井 聖子（大阪市立自然史博物館）：現生メタセコイアの生態—発芽・実生・海水耐性・挿し木の特性

P-10 ○尾本 雄道，伊藤 駿，木村 勝彦（福島大学），屋代 忠幸（関東森林管理局），佐野 雅規，李 貞，中塚 武（総合地球環境学研究所）：現生木を用いた年輪酸素同位体比の地域差の検討

P-11 ○齋藤 颯人，木村 勝彦（福島大学）：年輪酸素同位体比分析を用いた新潟県姫御前遺跡出土埋没林の年輪年代学的研究

**ポスター発表 B「人と植物の関係史」**

P-12 ○高橋 敦（パリノ・サーヴェイ），桃井 宏和（元興寺文化財研究所），久保 光徳（千葉大学）：木製民具の用材選択(2)

- P-13 ○安 鉦重 (全北文化財研究院), パレオ・ラボ: 韓国碧骨堤(Byeokgolje) 堤防遺跡の調査成果と植生史的意義
- P-14 ○遠藤 英子 (明治大学), 福田 正宏 (九州大学), 那須 浩郎 (総合研究大学院大学), 國木田 大 (東京大学), オクサナ ヤンシナ (ロシア科学アカデミー), ワレリー デリューギン (ウラジオストク国立経済サービス大学), マクシム ゴルシュコフ, エカテリーナ シャポワロワ (N. I. グロデコフ名称ハバロフスク地方郷土誌博物館): アムール川流域古金属器時代の雑穀栽培
- P-15 目黒 まゆ美 (明治大学): 縄文時代のオニグルミからみる核のサイズ変化
- P-16 小畑 弘己 (熊本大学): サ克蘭ボは食べなかった? チンギス・カンーモンゴル・アウラガ遺跡 2015 年出土バラ科果実の訂正および再同定
- P-17 ○佐々木 由香 (パレオ・ラボ), 山本 華 (早稲田大学), 大網 信良 (東京都埋蔵文化財センター), 西野雅人 (千葉県埋蔵文化財センター): 千葉県加曽利貝塚の土器圧痕から見た縄文時代中～晩期の植物資源利用
- P-18 ○荒川 隆史 (新潟県埋蔵文化財事業団), 木村 勝彦 (福島大学): 縄文時代晩期の越後平野における集落の形成・移動・回帰とクリ利用システム

14:10~14:20 休憩

**口頭発表 C「分類・系統, 生物地理」, A-1「生態, 古生態, 環境変動」 座長: 清永 丈太 (東京都)**

- 0-07 14:20 ○伊藤 彩乃 (緑生研究所), 百原 新 (千葉大学): 葉および殻斗化石の形態に基づいた後期中新世以降のムカシブナからブナへの分化プロセス
- 0-08 14:35 ○西内 李佳, 百原 新 (千葉大学), 塚腰 実 (大阪市立自然史博物館): 三木茂大型植物化石標本とそこから採取した花粉化石に基づく最終氷期最寒冷期の中国地方北西部の針葉樹林の復元
- 0-09 14:50 ○紀藤 典夫, 野崎 匠 (北海道教育大学), 矢野 梓水, 百原 新 (千葉大学), 近藤 玲介 (皇學館大学), 井上 京, 富士田 裕子 (北海道大学): 猿払川湿原におけるアカエゾマツ林の形成

15:05~15:15 休憩

**口頭発表 A-2「生態, 古生態, 環境変動」 座長: 塚腰 実 (大阪市立自然史博物館)**

- 0-10 15:15 吉田 明弘 (鹿児島大学): 完新世の北海道渡島半島におけるブナ林の分布拡大
- 0-11 15:30 小椋 純一 (京都精華大学): 山火事跡地に残された微粒炭等炭化物和燃えた植生との関係について
- 0-12 15:45 伊藤 翔, ○木村 勝彦 (福島大学), 齋藤 一樹 (にかほ市象潟郷土資料館), 栗本 康司 (秋田県立大学), 大山 幹成 (東北大学), 荒川 隆史 (新潟県埋蔵文化財調査事業団), 佐野 雅規, 李 貞, 中塚 武 (総合地球環境学研究所): 鳥海山の BC466 岩屑なだれ堆積物から出土した広葉樹主体の埋没林の詳細な暦年代決定に基づく復元

## 祝賀会スライドショーへの写真提供のお願い

創立 30 周年祝賀会では, これまでの日本植生史学会を振り返る創立 30 周年記念スライドショーを企画しております。つきましては, 会員のみなさまが撮られた写真の提供をいただきたく, お願い申し上げます。

日本植生史学会の大会, 巡検, 懇親会, 学会運営に関わる写真のデジタルデータを [shashin30th@hisbot.jp](mailto:shashin30th@hisbot.jp) までお送りください。

また, 写真に関する情報 (いつどこで撮影したものか) をメールに書き加えていただけますと助かります。提供して頂いた写真はできる限り祝賀会で紹介したいと思いますが, 時間の都合上, 写真の採用については記念事業実行委員会にご一任ください。

## 学会ニュース

### ● 会費納入のお願い

2016年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費（2010年度より）一般会員：6,000円・学生会員：3,000円・シニア会員：3,000円・団体会員：8,000円・賛助会員：一口20,000円とし一口以上とする。会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

### ● シニア会員制度について

日本植生史学会では、植生史学分野に長年携わり活躍されてきた会員に、定年退職後も学会活動への継続的な参画を期するため、「シニア会員」の制度を設けています。詳しくは、学会 Web サイトの「シニア会員制度の新設と会員種別変更のご案内」<http://hisbot.jp/archives/3156> をご覧下さい。

### ● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等があった方は、以下の日本植生史学会事務局へご連絡下さい。

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合1-1-4-2 東京都埋蔵文化財センター  
TEL：042-374-8044 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp
- NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 井上 淳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行  
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局  
Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 Mail：[hisbot@univcoop.or.jp](mailto:hisbot@univcoop.or.jp)
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>